

第7章 プロデュース戦略

「水都・大阪」の創生を軸とした、魅力と活力に溢れる「1500年都市大阪」を実現するためには、第1章～第5章に記されている重点地域を絞ったハード・ソフト施策とともに、それらを結びつけるネットワークの構築や、「水都・大阪」を国内外にPRするための情報発信やイベントといった、総合的なプロデュース戦略が重要である。

(1) ネットワークの構築

水上交通体系の整備を行うとともに、陸上交通体系とのネットワークを強化することにより、「水都・大阪」の相乗的な魅力の向上を図る。

具体策 水上交通体系の整備

- ・ 陸上交通体系との接点となる場所に魅力ある船着場を整備する。
- ・ 新旧淀川を船が航行できるよう整備を行い、30石船が航行した往年の舟運を復活する。この舟運は、「水都・大阪」の強力な観光資源となることは勿論のこと、通勤・通学の足として、或いは物資の輸送等にも活用可能にする。
 - ・ 短期的には……枚方～八軒家浜
 - ・ 中長期的には…琵琶湖～京都～枚方～中之島～大阪港
- ・ 八軒家浜の復元。
- ・ 水陸両用車の導入の検討。

舟運ルート概要図

具体策 橋梁の架け替え

- ・ 水上交通の大きなネックとなっているのが低い橋梁である。円滑な水上交通を可能とするため、まずは堂島大橋の架け替えを実現する。中長期的には、エアードラフト（水面からの部分）を 3 m とした場合、19 の橋梁の架け替えが必要となる。

具体策 陸上交通体系の整備

- ・ 船着場の整備に併せて、船着場と陸上交通体系のネットワークを図るため、陸上部分の整備を行う。
- ・ 歩行者導線、公共交通機関（バスを含む）との連携を図り、陸上の歴史文化等の施設の間でスムーズな回遊ができるようソフトの整備を行う。

具体策 利便性を高める各ソフトの検討

- ・ 各施設の共通利用券・割引券、商業施設の共通 IC カード、利用券・割引券、地域振興券、案内所の充実等、観光客の利便性の向上を図るソフトを充実させる。

（２）情報発信・イベント

国際集客都市を目指す大阪にとって、「水都・大阪」＝魅力と活力に溢れる街、というイメージを国内外の人々に知ってもらうことがまず重要であり、そのためにも情報発信の強化やイベント戦略が大切である。

具体策 手塚治虫作「どついたれ」映画化

- ・戦後の大阪を舞台に、厳しい時代をたくましく生き抜いた企業家をモデルにした作品。虫プロダクションの倒産を扱った実話に基づいて構成。「水都・大阪」のシーンが随所にちりばめられている。
- ・この作品を「大阪」で映画化することで、「水都・大阪」を強くアピールするとともに、閉塞感に覆われた人々にチャレンジ精神・ベンチャー精神を訴求するなど、元気の出るエールを贈る。
- ・この映画の実現に取り組んでいる、映画「どついたれ」勝手連を支援するとともに、官民あげて映画の実現に取り組み、大阪（大阪生まれの手塚治虫）を世界にPRする。

具体策 年間を通じたサイクルイベント

- ・大阪の水辺を舞台とした、季節ごとにテーマを持ったイベントを実施する。
（春：花、夏：祭り、秋：文化、冬：光）
- ・桜の通り抜け・天神祭り・水都祭・平成淀川花火大会等の既存の川沿いイベントとの連携も視野に入れる。
 - ・毛馬桜ノ宮公園の桜（約 4,700 本）や造幣局の桜を演出する水上イベント
 - ・天神祭に御堂筋パレードの要素を取り入れ（船の装飾、イベント性の向上等）観る人も楽しめるイベントにする（天神祭フロードシップパレード）

具体策 観月流し(川施餓鬼)

- ・大阪の水運の拠点「八軒家」で、中秋の名月を楽しむ「観月流し」を創生する。
- ・八軒家の川辺、船上から、願い事、歌、供養の施餓鬼を川に流し、観月を楽しむ祭典。

伝法の正蓮寺で行っている川施餓鬼を参考に

具体策 ワールド リバー フェスティバル

- ・海外の「水の都」と呼ばれる都市が集う国際色豊かなフェスティバルを中之島で開催する。
 - ・大川～安治川水系：各国の民族色豊かな船を観光船として運航
 - ・中央公会堂：音楽会と「水の都」写真展を開催
 - ・中之島公園：各国の特色ある食べ物を屋台で提供

具体策 「水都・大阪」橋物語

- ・嘗ての「水都・大阪」の繁栄に大きな役割を果たした「橋」。その「橋」にまつわるエピソードを一般公募し、コンテストを開催。
- ・優秀作品の舞台化・映画化、応募作品の展示会等を通じて、「水都・大阪」橋物語を国内外にPRする。

具体策 水辺のポテンシャル向上

- ・水辺のポテンシャルを向上させるため、中之島・大川周辺施設への光の導入（香港のビル群のイルミネーション等をイメージ）や、3Dのホログラムを用いた水面上の映画館を創出等、個性的な魅力づくりに取り組む。

具体策 「水都・大阪」縦断ウルトラクイズ

- ・USJと湊町間を運行していた「オクトパス」や既存の船を活用し、大阪を周遊する「水都・大阪」縦断ウルトラクイズを期間限定で開催。橋や川、大阪の歴史・文化に因んだクイズを行い、大阪のイメージアップや情報発信を図る。

具体策 市民参加型イベント

- ・「水都・大阪」の創生には、市民の盛り上がりが不可欠である。「水都・大阪」を国内外にPRするための効果的な市民参加型のイベントを一般公募する。
- ・イベントの運営にあたっては、市民の資金を導入できる仕組みを構築する（特別目的会社・SPCの設立、個人向け公募地方債等）。